

令和2年度 福島県教職員研究論文表彰



領域等	研究主題名	団体・個人の別	所属学校名(団体名) (職名) 氏 名
学校経営	一人一人の子どもの資質・能力を確実に育成できる学校づくり ～三つの柱(システム・人・授業)の視点～	団体	県立相馬支援学校 (代表)教諭 富村 和哉
学校保健	自他の健康に関心を持ち、自ら健康の保持増進を図る児童の育成 ～歯と口腔の健康づくりを通して～	個人	相馬市立日立木小学校 養護教諭 渡邊 舞香
学習指導 (社会科)	「社会的事象の相互の関連を多面的・多角的に考察する力」 の向上を目指した社会科指導法の工夫 ～「関連づけ」思考方法に焦点を当てた授業づくりを通して～	個人	新地町立尚英中学校 教諭 武口 隆太郎
学習指導 (算数科)	思考を可視化し、伝え合い、学び合う子どもの育成 ～活用力を育む学習指導の工夫・改善～	個人	相馬市立日立木小学校 教諭 大田 洋平
学習指導 (理科)	理科の専門性を高めるための一考察 ～小学校理科専科としての実践を踏まえて～	個人	南相馬市立金房小学校 教諭 角田 健太郎
学習指導 (社会科)	主体的に課題解決できる生徒の育成 ～資料を比較し、より深く課題追究する単元解決型学習の実践を通して～	個人	相馬市立中村第一中学校 教諭 齋藤 祐平

令和2年12月10日(木)南相馬合同庁舎において、令和2年度福島県教職員研究論文の表彰が行われました。今年度、相双域内においては、上記の通り6件の応募がありました。県の審査の結果、相馬支援学校が特選、相馬市立日立木小学校 養護教諭 渡邊舞香先生が入選、新地町立尚英中学校 教諭 武口隆太郎先生が奨励賞を受賞されました。式典では、相双教育事務所 佐藤由弘 所長から挨拶を、また、武口隆行 業務次長兼学校教育課長よりそれぞれの論文に対する講評がありました。受賞された皆様には、今後も相双域内の教育の充実に向け、実践、研究をさらに深められて御自身の専門性を向上させることを期待しております。本当におめでとうございました。

なお、これまでの福島県教職員研究論文入賞一覧及び福島県教職員特選研究論文集については県教育委員会Webにて閲覧ができます。

- ・県教育委員会「福島県教職員研究論文について」
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/gimukyoku69.html>)